

## 『物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう』

## 5年「たずねびと」

令和4年2月8日（火） 5校時 5年1組・2組教室 ワークスペース 男子33名 女子29名

## 1 単元の目標

- 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

## 2 単元の評価規準

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</li> </ul> <p>(1) オ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</li> </ul> <p>C (1) エ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</li> </ul> <p>C (1) オ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</li> </ul> <p>C (1) カ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。</li> </ul>

## 3 指導計画（全6時間）

次	学習活動	評価規準 【観点】（評価方法）
一	<p><b>構造と内容の把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を通読し、大まかな内容をとらえる。(1)</li> <li>・初発の感想を交流し、単元の学習課題と言語活動を設定する。(1)</li> </ul> <p>【本単元の言語活動（課題）】 遠い時代の人と自分を重ねて考えたことを伝え合おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の大まかな内容をとらえている。</li> </ul> <p>【態度】（シート、行動観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初発の感想を伝え合っている。</li> </ul> <p>【態度】（シート、行動観察）</p>
二	<p><b>精査・解釈</b>      <b>考えの形成</b>      <b>共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島に行くまでの場面で、物語に対する思いや考えを伝え合う。(1)</li> <li>・広島に着いてからの場面で、物語に対する思いや考えを伝え合う。(1)</li> <li>・おばあさんに会ってからの場面で、物語に対する思いや考えを伝え合う。(1) (本時5/6時間)</li> </ul> <p>本教材は、中心人物である「綾」からの視点の一人称で描かれているため、児童は「綾」の思いや考えを自分と重ね、「綾」に同化して読んでいくと考えられる。そこに「綾」と一緒に行動する「兄」の視点を加えることで、より具体的に物語の場面や人物像を捉えることができると考える。さらに、「綾」が広島で出会う「ものや人」を描写している「作者」の視点を加えることで、物語の全体像もつかむことができると考える。このように3つの視点で読むという「同化体験」が読みを深めるために有効に働くように、「ジグソー学習」を取り入れる。</p>	<p><b>文学体験（同化）</b>      <b>文学体験（対象化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「綾」「兄」「作者」の視点で物語を読み、そこから想像した人物像や物語の全体像をまとめている。</li> </ul> <p>【思・判・表】（シート、行動観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物像や物語の全体像を場面のタイトルに表している。</li> </ul> <p>【知・技】（シート、行動観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「綾」「兄」「作者」の視点で物語を読み取ったことを伝え合いながら、自分の考えを広げている。</li> </ul> <p>【思・判・表】（シート、行動観察）</p>
三	<p><b>考えの形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読むことを通して考えたことをもとに、「わたしのたずねびと」を書く。(1)</li> </ul>	<p><b>文学体験（典型化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の自分と関わりのある人で、たずねてみたい人への思いをまとめている。</li> </ul> <p>【態度】（シート、行動観察）</p>

#### 4 本時の展開 (5/6時間)

(1) 本時の目標 おばあさんに会ってからの場面で、物語に対する思いや考えを伝え合うことができる。

(2) 観点別評価規準 「綾」「兄」「作者」の視点で物語を読み、そこから想像した人物像や物語の全体像をまとめている。【思・判・表】

#### (3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される児童の反応 (・)	◎評価規準 (評価方法) 配慮を要する児童への支援 (◆)
1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確認する。 (ジグソーグループ) 5分	○前時の場面につけたタイトルを確認する。 ・「信じられないけれど、これが事実」 ・「どうしても目がはなせない」 ・「うちのめされた綾」 ・「たずねびとの手がかりはどこに」 ○「綾」「兄」「作者」の視点から、その場面で何を思ったり考えたりしているかを捉えることをおさえる。	◆前時のシートを使って学びのあしあとを確かめさせる。
めあて：おばあさんに会ってからの場面で、物語に対する思いや考えを伝え会おう。		
2 視点ごとに課題について考える。 (視点別グループ) 20分	【綾コース】 ○綾の広島に対する思いの変化を考えさせる。 ・広島で起きたことを忘れないでいることがどうなることなのかを考え始めている。 【兄コース】 ○綾に対する思いを考えさせる。 ・綾と一緒に広島の町をながめながら、綾と同じことを考えていた。 【作者コース】 ○作者が伝えたいことは何かを考えさせる。 ・あの日の広島を忘れないということは、あの日までたくさんの人が名前を呼び合いながら暮らしていたことに思いをはせること。	◆それぞれのコースで、何について考えるのか焦点化を図る。 ・人物の心情の変化 ・作者が伝えたいこと  ◎それぞれのコースで、描写を基に人物像や物語の全体像を想像している。 【思・判・表】(シート、行動観察)
3 本時の場面にタイトルをつける。 (ジグソーグループ) 15分	○視点ごとに考えてきたことをもとに、タイトルをつける。 ・「わすれないでいたら・・・」 ・「たずねてきてほしいたずねさんの名前」 ・「大切な一人一人の名前」 ・「たずねびとは待っていてくれた」 ○互いに質問し合うことで、読みを広げたり深めたりさせる。	◆質問し合うことの価値付けをするとともに、グループで質問を考える時間を設定する。  ◎それぞれのコースで考えてきたことをもとに人物像や物語の全体像をまとめている。 【思・判・表】(シート、行動観察)
4 学習をまとめる。 5分	○本時の学びを振り返りシートに記入させる。	

#### 5 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手だて

##### 言語活動の工夫

・本単元の言語活動を「遠い時代の人と自分を重ねて考えたことを伝え会おう」とした。具体的には、「綾」「兄」「作者」の3つの視点で物語を読み、そこから考えたことを伝え合うことを通して、物語の全体像を捉えていく。この活動を効果的に進めるために、今回「ジグソー学習」を取り入れる。そうすることで、より主体的な学びが生み出せると考える。

##### 対話活動の工夫

・「ジグソー学習」を取り入れることで、対話の必然性が生まれる。何のための対話かが明確になるわけである。また、視点別グループで学んだことをジグソーグループに戻って伝えなければならないので、対話に対する責任感も生まれてくる。さらに、ジグソーグループでは、視点別グループの報告に終わらず、そこから生み出す活動を入れることで、読みを深めさせていく。

##### 文学体験の工夫

・本教材では、「綾」「兄」「作者」の3つの視点で物語を読むという「同化体験」、そこから想像したことを基に場面ごとにタイトルをつけるという「対象化体験」を「ジグソー学習」の中に位置づける。そして、単元のゴールでは、本教材を通して考えたことをもとに、過去の自分を振り返らせ、たずねてみたい人への思いを「わたしのたずねびと」として綴らせる。これが「典型化体験」となると考える。